

全農薬通報

No. 331

令和3年12月28日

目 次

◎主な行事予定

- ・全国農薬協同組合
- ・植物防疫関係団体

◎組合からのお知らせ

- ・第300回理事会
- ・第301回理事会
- ・第56回通常総会
- ・第302回理事会

◎行政からのお知らせ

- ・第77回「農業技術功労者表彰」受賞者の決定

◎全農薬ひろば

- ・ツワブキ



全国農薬協同組合



〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-3-4 全農薬ビル

TEL : 03-3254-4171

FAX : 03-3256-0980

<https://www.znouyaku.or.jp> E-mail : info@znouyaku.or.jp

全農薬の主な行事予定

「全国農薬協同組合」

令和4年(2022年)

- 1月 4日(火) 仕事始め
- 1月 5日(水) 農薬工業会賀詞交歓会(会長・来賓の挨拶のみ、飲食無)
- 1月19日(水) 農薬工業会との情報交換会(ハイブリッド形式)
- 1月31日(月)～2月25日(金) 植物防疫研修会(試験日:2月25日(金)、オンデマンド方式による配信、農薬安全コンサルタント資格)
- 2月 令和4年度 各地区会議 中止
- 4月26日(火) 執行部協議会・各委員会・第303回理事会
- 6月～9月 農薬シンポジウム(山形県、大分県)
- 7月28日(木) 第49回安全協常任幹事会・情報交換会
- 9月21日(水) 執行部協議会・各委員会・第304回理事会
- 10月上旬 植物防疫研修会
- 10月25日(火) 監査会(理事長、監事)
- 11月16日(水) 第305回理事会
- 11月17日(木) 第57回通常総会・第306回理事会
第45回安全協全国集会・情報交換会
- 12月14日(水) 執行部協議会・第307回理事会
- 12月15日(木) 全農薬受発注システム利用メーカー協議会総会

「植防関係団体」

- 5月18日(水) 令和4年度 農薬工業会 総会
- 6月 7日(火) 令和4年度 日本くん蒸技術協会 総会
- 6月10日(金) 令和4年度 日本植物防疫協会 総会
- 6月15日(水) 令和4年度 全国植物検疫協会 総会
- 6月16日(木) 令和4年度 農林水産航空協会 総会
- 6月21日(火) 令和4年度 緑の安全推進協会 総会



サザンカ(山茶花) 撮影場所: 藤沢市

花言葉: 「困難に打ち克つ」「ひたむきさ」

赤いサザンカ「謙譲」

白いサザンカ「愛嬌」

組合からのお知らせ

1. 第300回理事会

開催日時 令和3年9月16日(木) 14:30~17:20

開催方法 リモート会議

出席者 理事 18名中 18名出席、監事 3名中 2名出席、事務局 2名出席

(理事長) 大森 茂 (副理事長) 栗原秀樹

(理事) 木幡光範、池田憲亮、山本真一、伊藤一貴、三枝徹也

中村哲郎、村上昭一、青木貴行、堅田充宏、宇野彰一、橋爪雅彦

田中公浩、喜多泰博、金井正和、安武広信、安部了一

(監事) 佐藤 剛、菊地正浩 鈴木健司(欠席)



理事長挨拶

開会にあたり理事長より挨拶



(1) 議決事項

1) 令和3年度決算に関する件

利用分量配当(案)、出資配当(案)、特別追加奨励(案)について諮り、全員異議無く承認された。

2) 組合員の脱退に関する件

組合員の脱退について諮り、全員異議無く承認された。

3) 令和4年度事業計画に関する件

事務局から説明後、本件案について諮り、全員異議無く承認された。

4) 令和4年度安全協事業計画に関する件

事務局から説明後、本件案について諮り、全員異議無く承認された。

5) 第56回通常総会及び第43回全国集会開催に関する件

執行部協議会(7月16日Web会議)における協議に基づき、第56回通常総会及び第43回全国集会の開催に関する件について諮り、総会及び全国集会は、新型コロナウイルス感染拡大防止と、出席組合員並びに来賓・賛助メーカーの皆様の安全と健康を最優先に考慮し、第55回通常総会は出来る限り少人数で開催すること、第43回全国集会は甚だ残念ながら中止し、安全協活動情報の発信について書面を通じて行うことが、全員異議無く承認された。

(2) 協議事項

1) 令和3年度植物防疫地区会議について

植物防疫地区協議会(植物防疫ブロック会議)について、Web会議が中心であり、各地区1名以上の理事・監事が出席することを確認した。

2) 令和4年度地区会議について

開催は新型コロナウイルスの感染動向によっては、開催自体を見直す(昨年同様のWeb研修への変更)こともあり、会場都合もあり10月初旬には、参集開催の可否を地区長と事務局で協議・判断することとした。

3) 支部別特別奨励実績について

資料による説明がなされ承認された。

4) 指導農業講習会・除草剤調査実施状況について

資料による説明がなされ承認された。

5) 組合員事業所永年勤続従業員表彰について

資料による説明がなされ承認された。

組合員事業所永年勤続従業員被表彰者一覧

県	会社名	名 前	役職名	県	会社名	名 前	役職名
北海道	株式会社コハタ	工藤 祐朋	主幹	三重	東海物産株式会社	本多 功和	支店長
北海道	株式会社サングリン太陽園	新田 美幸	チーフ	三重	東海物産株式会社	田中 春樹	次長
岩手	株式会社水沢農業	高橋 昭夫	相談役	三重	東海物産株式会社	芳賀 智紀	
栃木	第一アグリ株式会社	宮内 俊和		岡山	日植アグリ株式会社	植月 和枝	
埼玉	株式会社栗原弁天堂	永岡 正行	課長代理	熊本	グリーンテック株式会社	北方 允	所長
埼玉	株式会社栗原弁天堂	齋藤 俊道	課長代理	熊本	グリーンテック株式会社	児玉 ひとみ	
愛知	イノチオプラントケア株式会社	村田 裕介	部長	熊本	グリーンテック株式会社	今村 健仁	
愛知	イノチオプラントケア株式会社	岩村 友美	副部長	熊本	グリーンテック株式会社	村上 親一	所長
				熊本	グリーンテック株式会社	田中 麻美	所長

(3) 報告事項

1) 各委員会報告

総務委員会 山本委員長

- ・全農薬ビルについて、執行部で継続協議している。勉強会を実施し、執行部で継続検討し理事会で報告する。
- ・就業規則の見直しについて、社会保険労務士も交え検討している。



経済活動委員会 木幡委員長

- ・共同購買事業は収益の柱であり、そのポジションを継続させ、市場分析とシェア拡大策を検討していく。
- ・全農薬の取扱品目の拡大について、継続して取引メーカーと協議していく。



教育安全委員会 橋爪委員長

- ・コロナ禍で人を集めにくい次年度の指導農薬講習会の進め方について、Web 講習会実施個所の拡大の検討を行い、農薬シンポジウムの開催内容について、継続して現地と協議していく。



IT・広報委員会 中村委員長

- ・受発注システムの利便性向上、受発注システムデータの有効活用、システム運用での物流の効率化を検討する。



2) その他

全農薬ビル利活用について、理事・監事が不動産コンサルタントの報告を受け、資料を確認しての意見交換を実施した。出された意見について、執行部で検討し理事会で継続協議していく。

以上

2. 第 301 回理事会

開催日時 令和 3 年 11 月 16 日（火）13：00～14：30

開催方法 リモート会議

出席者 理事 18 名中 16 名リモート出席、事前書面審議 2 名

（理事長）大森 茂 （副理事長）栗原秀樹

（理事）木幡光範、池田憲亮、山本真一、三枝徹也、中村哲郎、村上昭一
青木貴行、宇野彰一、橋爪雅彦、田中公浩、喜多泰博、金井正和
安武広信、安部了一

書面審議：伊藤一貴、堅田充

（監事）佐藤 剛、菊地正浩、鈴木健司（会議室出席）

理事長挨拶

開会にあたり理事長より挨拶

（1）議決事項

1）第 56 回通常総会提出議案について

- 第 1 号議案 令和 3 年度決算関係書類承認の件
- 第 2 号議案 令和 4 年度賦課金の金額及びその徴収方法決定の件
- 第 3 号議案 令和 4 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件
- 第 4 号議案 令和 4 年度借入金最高限度額(案)決定の件
- 第 5 号議案 役員報酬額(案)決定の件

第 1 号議案から第 5 号議案まで定時総会提出議案について諮り、全員異議なく承認された。

（2）協議事項

1）令和 4 年第 57 回通常総会・安全協第 45 回全国集会の日程、会場について 令和 4 年 11 月 17 日(木) 海運クラブにて行うこととした。

2）令和 4 年度地区会議の開催について

来年 2 月に開催予定の各地区会議については、9 月開催の理事会でその開催形式を各地区長と事務局とで協議して決めることとしていた。新型コロナウイルス感染環境の中、感染拡大防止と出席される皆様方の安全を最優先に考慮し、誠に残念ながら会議開催の中止を各地区長と協議し決定した。

講演と農薬コンサルタントリーダーになるためのポイント付与については、以下の通り形を変えて実施したいと示した。

講演会に代わり、講演の 1 コマは全農薬事務局が作成し、全農薬ホームページ

を通じてパワーポイントを閲覧できるようにし、アンケートの提出を受け内容を確認することでポイントを付与する。

もう 1 コマは、各地区で講演に代わる内容を検討し、資料等を配布して上記アンケートの意見欄に「貴地区におけるもう一つの講演資料を読み、ご意見をお聞かせください」と記載し併せ返送してもらう。内容を確認しポイントを付与する。

指導農薬についても、ブリグロックスと安全対策協議会（事務局：シンジェンタ社）、ランネット普及会（事務局：コルテバ社）、クロルピクリン工業会が作成したパワーポイントを、本年同様全農薬ホームページから閲覧可能なものとし、指導農薬啓蒙活動の一助とする。

来年 2 月の地区会議の開催が出来ないこと、とても残念ではありますが、上記の通り形を変えて講演会に代わる内容を準備し実施することについて、了解を得た。

従来会議の午前に実施していた全農薬の情勢報告、情報交換は、どの様に実施するか各地区長が検討し、12 月理事会で報告を受けることとした。

（3）その他

1）12 月 8 日開催の第 302 回理事会開催について

ごく最近の国内の新型コロナウイルス感染症の落ち着き状況より、12 月 8 日開催の第 302 回理事会はリアルに出席できる理事・監事が増える可能性も想定し、リアル出席かリモート出席かの選択で出欠を調整したらどうかとの意見があり、事務局で各理事・監事と調整することとした。

3. 第 56 回通常総会

招集日時 令和 3 年 10 月 15 日(金)

開催日時 令和 3 年 11 月 17 日(水)

開催場所 全農薬 9F 会議室（千代田区内神田 3-3-4 全農薬ビル）

議題

- | | |
|---------|------------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 3 年度決算関係書類承認の件 |
| 第 2 号議案 | 令和 4 年度賦課金の金額及びその徴収方法決定の件 |
| 第 3 号議案 | 令和 4 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件 |
| 第 4 号議案 | 令和 4 年度借入金最高限度額（案）決定の件 |
| 第 5 号議案 | 役員報酬額（案）決定の件 |

組合員数 197 社（令和 3 年 9 月 30 日時点）
出席組合員数 159 社（内 本人 3 社、書面審議結果事前提出 156 社）
出席理事の氏名（18 名中 2 名出席）
大森 茂、栗原 秀樹
出席監事の氏名（3 名中 1 名出席）
佐藤 剛
議長の氏名
栗原 秀樹
議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名
鈴木 敦（参事）

開会

定刻に至り、事務局鈴木参事より本日の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大の防止と、出席組合員の安全を最優先に考慮し、出来る限り少人数で開催し、事前に書面による審議結果を確認することとしたこと、結果出席組合員数は第 56 期末組合員数 197 社に対し、本人出席が 3 社、書面審議結果提出 156 社、合計 159 社であり、定款第 41 条の法定数を満たしているので、有効に成立する旨を報告し開会を宣言した。

大森 理事長より挨拶

本日は、お忙しい中、全農薬の総会に出席いただき、また書面事前審議をいただきありがとうございます。

昨年度に引き続いてのコロナ禍により、本年の総会は出席人数を最小限にしての開催と事前書面審議とし、全国集会は中止としました。

世の中がリモート形式になっていることより、仕事を進めるうえで人による温度差が生じやすくなってきています。リモートで出来る仕事とリアルに顔を合わせ進める仕事を分けて、両者を融合させながら効率よく仕事を進めていくことを心掛けたいと考えています。

現在開催中の植防のブロック会議もリモート会議が中心となり、残念なことに情報交換会がなくなり、関係団体は出席が出来なくなった会議も出てきています。情報交換にとり厳しい状況は続いていると思いますが、行政関係者と何らかの形で情報を交換し収集していきたいと考えています。本日は宜しくお願い致します。

議長選出

全員の承認により栗原副理事長が議長に選出され、議事に入った。

議事経過の要領及びその結果

第1号議案 令和3年度決算関係書類承認の件

事務局鈴木参事が庶務関係、決算関係を事業報告書に基づき説明した。

次いで佐藤監事が次のような監査報告を行った。

佐藤監事：10月22日全農薬ビル事務所において、提出された令和3年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の各項目、帳票類について菊地監事、鈴木監事と監査した。その内容は適切なものと認めます。

栗原議長から第1号議案について諮る。原案通り承認された。

第2号議案 令和4年度賦課金の金額及びその徴収方法決定の件

1. 賦課金の額
2. 教育情報賦課金の額
3. 納入方法

栗原議長から第2号議案について諮る。原案通り承認された。

第3号議案 令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

事務局鈴木参事が事業報告書に基づき説明した。

栗原議長から第3号議案について諮る。原案通り承認された。

第4号議案 令和4年度借入金最高限度額(案)決定の件

栗原議長から第4号議案について諮る。原案通り承認された。

第5号議案 役員報酬額(案)決定の件

栗原議長から第5号議案について諮る。原案通り承認された。

佐藤監査役 指摘事項

「本総会議案審議において、次年度は未回答事業所が可能な限りゼロに近付くよう働きかけをお願いしたい。」について了解された。

栗原議長が終了宣言とお礼を述べ閉会した。

3. 第 302 回理事会

開催日時：令和 3 年 12 月 8 日(水) 15:00-17:00

開催形式：ハイブリッド会議（リアル・リモート・書面混合会議）

開催場所：全農薬ビル 会議室

出席者：理事 18 名中 来所出席 5 名、リモート出席 9 名、書面審議 4 名

（理事長）大森 茂 （副理事長）栗原秀樹

（理事）木幡光範（リ）、池田憲亮（書）、山本真一、伊藤一貴、
三枝徹也（リ）、中村哲郎（リ）、村上昭一（リ）、青木貴行（リ）
堅田充宏（書）、宇野彰一（書）、橋爪雅彦（リ）田中公浩、
喜多泰博（リ）、金井正和（リ）、安武広信（リ）、安部了一（書）

（監事）佐藤 剛、菊地正浩、鈴木健司

来所出席：無印、リモート出席：（リ）、書面審議：（書）



議事経過

理事長挨拶

開会にあたり理事長より挨拶

（1）議決事項

1) 令和 4 年度購買事業価格及び諸条件の件

取扱品の価格変更が報告された。

2) 令和 4 年度役員選考準備委員会（設置と役員委嘱）の件

大森理事長より、令和 4 年に実施の役員選考に向け、役員選考準備委員会を設置すること報告された。

1 号議案、2 号議案とも、全員異議無く承認された。

(2) 協議事項

1) 令和 4 年度の事業及び課題について

部門	持続的内容	課題・検討テーマ
執行部	委員会間及び事務局との調整 収益改善方策の検討	全農薬ビジョンの策定 次世代に向けた組合員サポート業務 将来の収益事業の調査・検討
総務	全農薬ビルの将来構想策定 各種規則の見直し	方針の策定と、今後のスケジュール検討 就業規則等の見直しへの継続取組
経済活動	取扱品目実績及び課題の把握 仕入先との情報交換、取引条件協議 奨励、販売条件見直し	品目利益性の把握と利益確保 取扱品目拡大策の検討と仕入先との協議
教育安全	安全協支部活動の活性化への支援 指導農薬(フリカール、ランネット、ピクリン)の安全使用啓蒙活動継続 農薬シンポジウムへのサポート支援	全農薬HP上を利用し、支部活動の支援策を検討 農薬シンポジウム(山形、大分)開催をサポート(コロナ禍対応形式) 現状の形式での農薬シンポジウムの継続検討 指導農薬の枠を広げるかどうかの検討
IT・広報	利用メーカー、組合員の拡大 受発注システムの改善提案	受発注システムデータの有効活用検討 受発注システムの利用状況の検証 HP等を活用したデジタル化の推進
共通	新規組合員の勧誘	総会、地区会議、支部活動の内容検討

2) 令和 4 年度地区会議に代わる、Web 研修並びに全農薬の現状と今後への協議の実施について

① Web 研修会の実施について

地区会議の講演視聴から変える Web 研修会の実施は、講演と農薬コンサルタントになるためのポイント付与について以下の通り形を変えて実施したいと 11 月開催の理事会で示した。

講演会に代わり、講演の 1 コマは全農薬事務局が作成し、全農薬ホームページを通じてパワーポイントを閲覧できるようにし、アンケートの提出を受け内容を確認することでポイントを付与する。

もう 1 コマは、各地区で講演に代わる内容を検討し、資料等をホームページを通じて配信して上記アンケートの意見欄に「貴地区におけるもう一つの講演資料を読み、ご意見をお聞かせください」と記載し併せ返送してもらう。内容を確認しポイントを付与する。

指導農薬についても、シンジェンタ社、コルテバ社、クロルピクリン工業会が作成したパワーポイントを、本年同様全農薬ホームページから閲覧可能なものとし、閲覧後アンケートを提出して貰い指導農薬啓蒙活動の一助とする。

② 全農薬の情勢報告、情報交換について

従来地区会議の午前に実施していた、全農薬の情勢報告・情報交換は、理事長方針、各委員会の活動実績等を全農薬ホームページで組合員が閲覧できるようにし、アンケートで意見を集約できるようにすることとした。

3) 令和 4 年度行事日程(案)について

本通報 P2 に掲載の日程表のとおり

3. 令和3年度植物防疫地区協議会（植物防疫ブロック会議）

(1) 北海道・東北地区植物防疫協議会

開催月日：令和3年11月18日（木）、19日（金）

開催方法：Webexによるオンライン開催

1日目（午後）：全体会議 13：30～16：30

- ・消費・安全局農産安全管理課農薬対策室所管事項
- ・消費・安全局植物防疫課所管事項 等

2日目（午前）：分科会

9：30～12：00

- ・野菜・花卉病害虫分科会
- ・果樹病害虫分科会

13：30～16：30

- ・水稻・畑作病害虫分科会
- ・農薬分科会

全農薬参加者：木幡理事、土屋拓郎（北海道農薬卸組合）、
金子勲（池田理事代理）

(2) 関東地区植物防疫協議会

開催日時及び場所

開催日時：令和3年12月6日（月）

令和3年12月7日（火）

開催方法：リモート会議（Webex Meeting による Web 会議）

1日目 10：00～16：00

① 全体会議（農薬関係）

- ア 農薬対策室からの情勢報告
- イ FAMIC からの情勢報告
- ウ 関係団体からの情勢報告

② 分科会（農薬関係）

- ア 農薬の適正使用に係る都道府県の指導体制等について
- イ 蜜蜂被害対策（ドローンによる農薬散布計画の把握・共有等）
- ウ 農薬危害防止運動の総括・検証（都道府県独自の目標設定と取組の検証）
- エ その他

2日目 10：00～16：00

① 全体会議（植物防疫関係）

ア 植物防疫課からの情勢報告

イ 植物防疫所からの情勢報告

② 分科会（植物防疫関係）

ア スクミリンゴガイの総合防除体系の確立について（事業報告）

イ 夏期間報告のとりまとめ結果について

ウ IPM実践指標等の環境負荷低減技術の普及推進について

エ 発生予察情報の提供方法について

オ その他開催月日；11月24日(火)、25日(水)

全農薬参加者：中村良彦・渡辺一義（栗原副理事長代理）、海口直弥・
小林裕太郎・入江利哉（伊藤理事代理）、植草技術顧問

(3)植物防疫北陸地区協議会

開催日時：令和3年12月2日（木） 9：00～17：00

開催方法：Zoom を用いた Web 会議

12月2日（木）

【午前①（植物防疫分科会）】 9：00～10：20

【午前②（農薬関係分科会）】 10：35～11：55

【午後（植物防疫・農薬に関する情勢報告（全体会議））】

13：00～17：00

議題

（1）植物防疫・農薬に関する情勢報告

（2）令和3年度植物防疫業務について

（3）令和3年度農薬関係業務について

（4）植物防疫業務、農薬関係業務に関する意見交換等

全農薬参加者：森下直樹（中村理事代理）

(4)東海・近畿地区植物防疫事業検討会

開催日時：令和3年11月29日（月） 9：30～17：00

開催方法：本省及び東海・近畿農政局各拠点等会議室（TV 会議による開催）

開催会場（全農薬参加会場のみ掲載）

近畿農政局 和歌山県拠点 会議室（5階）和歌山地方合同庁舎）

議 事

（1）植物防疫を巡る情勢

- (2) 植物検疫に関する情報提供
- (3) 農薬行政を巡る情勢
- (4) 農薬登録等に関する情報提供
- (5) 植物防疫・農薬行政に関する意見交換
- (6) その他

全農薬参加者：橋爪理事

(5)植物防疫中国四国地区協議会

開催月日：11月8日（月）、9日（火）

開催場所：岡山県農業共済会館大会議（岡山市北区桑田町 1-30）

大会議室：全体会議及び植物防疫分科会

研修室：農薬分科会

議 題

<11月8日、9日：全体会議>

- (1) 植物防疫を巡る最近の情勢について
- (2) 農薬行政を巡る最近の情勢について
- (3) 植物検疫を巡る最近の情勢について
- (4) 植物防疫に係る検討課題に関する意見交換
- (5) 総合討議
- (6) 関係団体からの情報提供

<11月8日：分科会>

【植物防疫分科会】本年度の病虫害の発生状況及び防除について

【農薬分科会】農薬適正使用指導、農薬による蜜蜂被害防止について

全農薬参加者：大森 茂 理事長

(6)植物防疫九州・沖縄地区協議会

開催月日：令和3年11月25日（木）

開催場所・方法：

- (1) 全体会議（TV会議：農林水産省、内閣府沖縄総合事務局、九州農政局及び各県拠点 TV 会議室）
- (2) 作物別分科会、農薬行政分科会（ウェブ会議：Webex 又は Microsoft Teams）

参集範囲：県、国立研究開発法人、独立行政法人、国
（関係団体は参加不可）

令和3年11月26日（金）9時～12時（全体会議）

議題

（１）全体会議

- ア 植物防疫・農薬行政を巡る情勢について
- イ 植物検疫・農薬検査に関する状況について

（２）植物防疫・農薬行政会議

- ア 普通作物病害虫分科会（令和3年度に問題となった病害虫について）
- イ 果樹・茶樹病害虫分科会（同上）
- ウ 野菜・花き病害虫分科会（同上）
- エ 農薬行政分科会（農薬の適正使用及び危害防止運動等について）

全農薬参加者：国と県関係者以外の参加を不可として開催

4. 第96回植物防疫研修会（農薬安全コンサルタント資格） 報告

安全協農薬安全コンサルタントの資格試験となる植物防疫研修会（日本植物防疫協会主催）は毎年2回の開催であったが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により10月は中止された。今年2月（第95回）については、講義をオンラインによるオンデマンド研修とし、修了試験は全国5カ所の会場に分かれて行われた。第96回についても前回と同様の形式により開催された。全国から84名が受講し、このうち全農薬組合員からは37名の受講となった。

開催日時：令和3年10月11日～11月4日（視聴期間）

令和3年11月5日（修了試験 全国5カ所会場）

研修内容：植物防疫法や農薬取締法、農薬の適正使用、農薬の安全性評価、病害や害虫の総論および作物別の各論、薬剤の知識として殺菌剤、殺虫剤および除草剤・植物成長調整剤の総論、農薬の施用技術、航空防除に関する講義。

これまでと同様のカリキュラムを組み、最新の情報を加えた内容とした。

講師：農林水産省消費・安全局の担当官、農林水産消費安全技術センター(FAMIC) 農薬検査部の専門官、農研機構の各部門の専門家、薬剤に関する内容については、農薬会社や日本植物調節剤研究協会の専門家。

受講生が専用のURLより接続して10月11日から11月4日まで視聴した。終了後の11月5日に研修内容の習得度をはかる修了試験を行った。会場は受講生の交通の利便性も考慮し、札幌、仙台、東京、京都、福岡として実施した。この試験結果に基づき、合格者には日本植物防疫協会理事長名による「修了証」並びに全国農薬協同組合理事長名により「農薬安全コンサルタント認定証とバッジ」を授与した。

5. 日本植物防疫協会主催シンポジウム 報告

「新しい時代に向けた病害虫の診断と発生予察を考える」

開催日時：2021 年 9 月 17 日（金） オンライン開催

参加者：植草 秀敏 技術顧問

日本植物防疫協会は 2021 年 9 月 17 日に、シンポジウム「新しい時代に向けた病害虫の診断と発生予察を考える」オンラインにより開催し、国や都道府県の行政、試験研究機関、普及指導機関、農薬企業、大学、生産者など参加した。

1. 理事長挨拶

開会に際して、早川理事長より、「昨年度、シンポジウムは前期中止、後期は「座談会」の開催という状況となった。今年度「みどりの食料システム戦略」や「植物防疫の在り方について」等、植物防疫に関して多くの課題が提示されている中で、時機を失することなくオンライン方式によるシンポジウムを開催することとした。テーマについては、切迫した病害虫防除所の現状を踏まえ、AI 等新しい技術を使用した病害虫の診断技術や発生予察の高度化の活用として、話題をいただくこととした。AI、ICT 等スマート農業推進のための要素技術は進化しているが、それを使いこなすのはあくまでもひとである。先端技術とその使い手との新たな関係についても考える一助ともなることを祈念する。」と挨拶があった。

2. 講演

(1) 「発生予察の高度化を踏まえた今後の発生予察事業について」

農林水産省消費・安全局植物防疫課防疫対策室 羽石洋平氏

都道府県技術者の減少と経験不足を補うため、ドローン等によるセンシングや AI 等を用いた精緻な発生予察情報アプリ等のツール関係機関と連携により、農家への伝達体制を構築する等について講演された。

(2) 「深層学習による病害虫識別技術の開発と将来展望」

農研機構農業環境研究部門 岩崎巨典氏

深層学習による病害虫画像識別では、画像中の分類対象の特徴量が少ない、背景や撮影条件等影響を受けやすい等の課題について講演された。

(3) 「AI を活用した病害虫雑草診断アプリ「レイミー」の活用と将来の展望」

日本農薬株式会社 谷口健太郎氏

2020 年 4 月に水稻におけるアプリの社会実装を開始し、現在では水稻、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、レタス、ネギの 6 作物で 500 以上の病害虫と雑草が診断可能となっている。ダウンロード数は 45,000 を超え、月間 15,000 回以上診断に利用されている。今後、作物数を増やし、生理障害等への対応可能な基本性能の向上を図ると講演された。

(4) 「奈良県における発生予察・診断・指導の現状と将来」

奈良県農業研究開発センター 國本佳範氏

奈良県の植防事業における人員減少、経験不足、業務の増加等現状を述べられ、課題の解決には AI、ICT 等の活用の必要、活用には時間屋活用の理解が大切である新技術を道具としての使い方を理解する必要がある。また、職員の技術の伝承が必要で新たな技術活用はこれからも拡大・加速業務をサポートしてくれるシステムの開発、実証を期待されると講演された。

(5)「岩手県における発生予察・診断・指導の現状と将来」

岩手県農業研究センター 岩館康哉氏

岩手県の植防事業における組織や機関の縮小など現状について述べられ、効率的職員の技術習得・継承また新しい技術の活用を促す取り組みが必要であると講演された。

(6) 総合討論

講演に関する質疑応答の後、講演者と兵庫県農林水産技術総合センターの神頭武嗣氏、当協会技術顧問の野田隆志氏、門田育生氏による総合討論を富田専務理事の司会で進めた。「病虫害診断」、「防除指導の基になる発生予察」では、官民一体となって関連する情報を共有しながら、新しい技術の最適な使い道を考えている重要とを締めくくられた。

6. 農薬安全コンサルタントリーダー研修会 報告

昨年はコロナ禍により中止を余儀なくされたが、今年度は2021年10月20日～11月5日の期間で開催され終了したので報告します。

開催目的

農薬安全コンサルタントの技術の向上と商系組織の技術販売体制の強化ならびに組合活動の活性化を図るために農薬安全コンサルタントリーダーを養成する。

開催形式

メディア研修：研修動画を記録した媒体（DVD3枚を送付）を視聴し受講

修了試験：試験会場へ集合して実施

開催日時

研修視聴期間：2021年10月20日～11月4日

修了試験：2021年11月5日（金）1回目 11：00～12：00

2回目 14：00～15：00

試験会場：全農薬ビル9階会議室

受講者

20名（内 試験の辞退者が1名）

研修実施方法

1. 研修資料：各講義資料（研修動画記録媒体、各講義テキスト等）を郵送。
2. 受講（視聴）方法：受講者へ郵送されたDVD（MP4ファイルとして各講義動画が記録）研修動画をパソコンで一定期間視聴し受講。
3. 修了試験：11月5日（金）午前の部（10名）、午後の部（9名）
修了試験前に研修動画記録媒体（DVD）を返却。



配布した各種講義テキストとDVD

第8回 農薬安全コンサルタントリーダー研修会講義内容

演 題	講師所属
1. 植物防疫行政と関係法規について	農水省消費・安全局植物防疫課
2. 農薬行政と農薬関係法規について	農水省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室
3. 現場で役立つ病害診断	神奈川県病害虫防除所
4. 現場に役立つ害虫診断	神奈川県病害虫防除所
5. 水稻の病害と防除	元(独)農研機構中央農研センター
6. 水稻の害虫と防除	元(独)農研機構中央農研センター
7. 果樹の病害と防除	千葉県生涯大学校
8. 果樹の害虫と防除	農研機構果樹研究部門
9. 水稻の雑草と防除	(公財)日植調研究所
10. 農薬の毒性と安全性評価について	(一財)残留農薬研究所



11月5日に午前と午後に分かれて全農薬会議室において行った修了試験の様子。コロナ対策として、着席の間隔を開け実施、試験中もマスクの着用をお願いした。また、試験会場入試室前に手指等の消毒と検温を実施。試験当日まで体調の管理に十分な配慮をお願いした。

合格率：95% 平均点：78点

試験の可否については、後日通知書をお送りした。

7. 全農薬受発注システム利用メーカー協議会第 12 回総会

開催日時：令和 3 年 12 月 9 日(木) 10：30-11：50

開催場所：全農薬会議室（ハイブリッド会議）

出席者：石原バイオサイエンス(株)、サンケイ化学(株)、シンジェンタ・ジャパン(株)
住友化学(株)、日産化学(株)、日本農薬(株)、バイエルクロップサイエンス(株)
丸和バイオケミカル(株)、三井化学アグロ(株)、Meiji Seika ファルマ(株)
(株)電算システム（3 名・会）

大森理事長（会）、中村 IT 広報委員長、鈴木参事（会）、植草副参事（会）

リモート出席：無印、会議室出席：（会）



I.開会挨拶（全国農薬協同組合 理事長 大森茂）

II.令和 3 年度事業概要報告

- ① 全農薬受発注システムの利用状況について（組合員）
- ② 全農薬受発注システムを通じた物流（数量・金額）について
- ③ 製品・チラシ ポータルへのアクセス数

III.全農薬受発注センター 令和 3 年度活動報告について

- ①新規メーカー様ご利用に向けての利用促進活動・サポート
- ②新規組合員への利用開始までのサポート。
- ③既存組合員の基幹システムリプレースのサポート
- ④メーカー様間の販売移管のサポート
- ⑤システム機能改善・拡充
 - ・データベースシステム「Oracle」のバージョンアップ対応
 - ・Internet Explorer 終了に伴う Microsoft Edge の最新バージョンへの対応
 - ・全銀 TCP/IP・広域 IP 網への対応検討
- ⑥システム運用

- ・ 重大なトラブルなく安定運用が来ている。パフォーマンス面でも問題なく、来年以降も安定運用最優先で取り組む。

Ⅳ.全農薬受発注センター 令和 4 年度活動計画

- ①新規メーカー様ご利用に向けての利用推進活動・サポートの実施
- ②組合員へのアプローチ
- ③システム機能改善・拡充
 - ・ Internet Explorer 終了に伴う Microsoft Edge の最新バージョンへの対応

V.その他

- ①電子帳簿保存法の改正について
- ②商品コードの J A Nコードについて
- ③運送便問い合わせ番号表示機能について
- ④商品の在庫数表示について

Ⅵ.閉会挨拶（IT・広報委員長 中村哲郎）

関係団体からのお知らせ

1. 農薬工業会 2022 年賀詞交歓会開催のご案内

農薬工第 2021-209 号
2021 年 11 月 26 日

全国農薬協同組合 殿

農薬工業会
会長 本田 卓

2022 年賀詞交歓会開催のご案内

謹啓 初冬の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当会の事業に格別のご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会恒例の賀詞交歓会を下記のとおり開催いたします。日頃のご教導に感謝申し上げますとともに、新たな年に向けた躍進の糧といたしたく、ご多忙とは存じますが、ご出席を賜りますようご案内申し上げます。

敬白

記

日時:2022 年 1 月 5 日(水) 12 時 30 分から 13 時まで

受付:12 時より

場所:経団連会館 2 階「経団連ホール」

千代田区大手町 1-3-2 電話 03-6741-0222

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、「着座(シアター形式)、飲食無し、会長・来賓のご挨拶のみ、参加人数を会場定員の 1/2 程度に縮小」して行います。

2. 全国肥料商連合会「令和4年合同賀詞交歓会」開催中止のお知らせ

全肥発令3第9号

令和3年11月30日

各 位

一般社団法人 全国肥料商連合会
会長 山森 章二

「令和4年合同賀詞交歓会」開催中止のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のことと、お慶び申し上げます。

平素は本会事業運営に特段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年1月19日(水)に開催を予定しておりました全国複合肥料工業会(全複工)との合同賀詞交歓会に就きまして、関連業界、業界他団体などの対応を見ながら共催の全複工と検討をして参りました結果、国内では新型コロナウイルス感染者数が減少傾向にあるとは いえ、海外ではまだまだ猛威が続き更に新たな変異株の急拡大の懸念も出ている中、参加者 皆様の感染防止といった安全を最優先に考慮し、令和4年に就きましても開催を見送らせて頂くことと致しましたので、ご了承賜ります様宜しく願い申し上げます。

参加のご予定を頂いていた会員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、諸事情ご賢察の上ご理解賜ります様宜しく願い申し上げます。

敬具

3. 日植防年末年始のご案内

当協会の事業につきましては、常々格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、年末年始の予定を下記のとおりお知らせいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

記

仕事納め：2021年12月28日(火)

納会はお案内する限られた関係者のみで行います。

休 み：2021年12月29日(水)から2022年1月3日(月)

仕事始め：2022年1月4日(火)

賀詞交歓会はおこないません。

通常業務：2022年1月4日(火)から

行政からのお知らせ

1. 「ハザードに基づく農薬使用者への評価法に関する審査ガイドンス」について

3消安第 3074 号

令和 3 年 9 月 7 日

全国農薬協同組合理事長 殿

農林水産省消費・安全局農産安全管理課長

「ハザードに基づく農薬使用者への評価法に関する審査ガイドンス」について

「農薬の登録申請において提出すべき資料について」（平成 31 年 3 月 29 日付け 30 消安第 6278 号農林水産省消費・安全局長通知）の別紙 1「農薬使用者への影響評価ガイドンス」の別添 5「ハザードに基づく評価法」に関する審査の基本的な考え方を定めたので、お知らせします。

詳細については以下より

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_touroku/attach/pdf/index-60.pdfv

2. 「農薬原体の製造方法等の変更に係る事前相談に関する指針について」の一部改正について

3消安第 3086 号

令和 3 年 9 月 7 日

全国農薬協同組合理事長 殿

農林水産省消費・安全局農産安全管理課長

「農薬原体の製造方法等の変更に係る事前相談に関する指針について」 の一部改正について

今般、令和 3 年 4 月より運用を開始した農薬登録情報システムにおいて、事前相談等に際して提出される書類、試験成績等を電磁的記録により管理することが可能となったことに伴い、試験成績等の提出方法及び部数について、「農薬原体の製造場又は製造工程の変更に係る事前相談に関する指針について」（平成 29 年 3 月 31 日付け 28 消安第 5807 号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知）の一部を改正するので、お知らせします。

3. 令和３年度（第 77 回）「農業技術功労者表彰」受賞者の決定について

令和 3 年 11 月 18 日

農林水産省農林水産省及び公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会は、令和 3 年度（第 77 回）「農業技術功労者表彰」について、農林水産技術会議会長賞を決定しました。

1. 概要

農林水産省及び公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会は、農業その他関連産業に関する研究開発の一層の発展及び農業技術者の意欲向上に資するため、農業技術の研究や普及指導又は農業経営関係の研究や改善指導に顕著な功績があった者を表彰し、農林水産技術会議会長賞を授与しています。

2. 本年度の受賞者

受賞者：浅田 勉（あさだ つとむ）

所 属：群馬県畜産試験場 研究調整官

業績名：黒毛和種子牛の適正飼育管理による肥育期間短縮と効率的肉牛経営の確立

受賞者：酒井 長雄（さかい ながお）

所 属：長野県農業試験場 作物部長

業績名：中山間地域向け水稻直播栽培及び雑草イネ防除技術の体系化と普及

受賞者：松本 辰也（まつもと たつや）

所 属：新潟県農業総合研究所園芸研究センター 専門研究員

業績名：日本なし自家和合性品種育成による安定生産技術の開発と普及

受賞者：山中 正仁（やまなか まさひと）

所 属：兵庫県立農林水産技術総合センター北部農業技術センター 農業・加工流通部長

業績名：施設カーネーション切り花の安定・省力・多収生産技術の開発と普及

受賞者：結城 和博（ゆうき かずひろ）

所 属：鶴岡市新規就労者研修受入協議会シニアアドバイザー

（元山形県農業総合研究センター 水田農業試験場長）

業績名：極良食味で炊飯米の外観が秀でた水稻品種「つや姫」の育成と普及

受賞者：横山 とも子（よこやま ともこ）

所 属：千葉県農林総合研究センター 生物工学研究室長

業績名：コガネムシ天敵微生物防除とネギベと病防除支援技術の開発

ツワブキ（石路、艶路、学名：*Farfugium japonicum* (L.) Kitam.）

キク科ツワブキ属に属する常緑多年草である。海岸近くの岩場などに生え、初冬に黄色い花を咲かせる。葉柄は食用になる。観賞用に庭園に植えられる。

○形態・生態

冬にも緑の葉が茂る常緑多年草で、草丈はおよそ 30 - 75cm、半日陰を好む性質がある。土中に短い茎があり、土の上には葉だけが出る。葉は大型で、葉身は厚くて表面につやがある。花期は初冬から冬にかけてで、葉の間を抜けて花茎を伸ばして、キクに似た黄色い頭状花を数個まとめて咲かせる。

○分布・生育地

日本においては、本州の太平洋側では福島県から、日本海側では石川県から西の地域及び、四国や九州に分布する。表面のツヤが潮風から本体を守るため、主に海岸沿いに多く自生し、岩の上や崖の上などに生える。

○園芸

日陰でもよく育つので、園芸植物として日本庭園の石組みや木の根元などに好まれる。園芸品種は多数あり、斑入り葉や奇形葉などがある。栽培は、半日陰や樹木下の弱光の場所が良く、株分けで繁殖させる。

○食用

西日本の一部地域ではフキと同じように葉柄を食用としている。後記アルカロイドを含むため、軽くゆがいて皮を剥き、酢を少量加えた湯で煮直し、1 日以上水に晒すなどの灰汁抜きが必要であり、フキよりも準備に手間がかかる。

○毒性

有毒なピロリジジンアルカロイドを含んでおり、肝毒性がある。アサギマダラなどのマダラチョウの仲間は、一部の植物の花の蜜から特定のピロリジジンアルカロイドを摂取して体内に蓄えて、敵からの防衛のためとオスが出す性フェロモンの原料にもなる。

(一部 Wikipedia より引用)



撮影場所：藤沢市

花言葉：『謙譲』『謙遜』

